

Man AHL YEN TRUST - 円建て公募契約型バミューダ籍外国投資信託

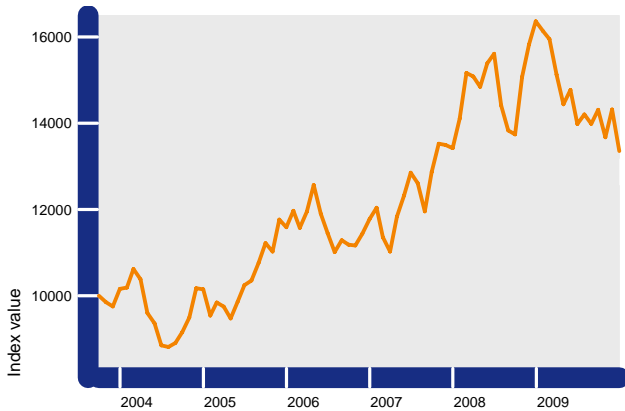
月次運用報告書

2010年1月

投資目的: 当ファンドは、世界の先物及び通貨取引への分散投資を通じ、中期的に絶対リターンを追求します。先物分散ポートフォリオである AHL ダイバーシファイド・プログラムによる運用により投資目的の実現を目指します。

Man AHL Yen Trust - 2003年10月14日 - 2010年1月31日

セクター別損益 - 2010年1月



セクター	損益
債券	+
株式	---
通貨*1	-
短期金利	+++
エネルギー	-
農産物	0
金属*1	--
クレジット	0

注: 表示について(ご参考目安): 対 NAV 比 1.2%以上 +++ / --- 0.5%以上 1.2%未満 ++ / -- 0.1%以上 0.5%未満 + / - 0.0%以上 0.1%未満 0

1口当たり 純資産価額 (基準価額)	純資産総額 (円)	当月収益	総合収益率 過去3ヶ月	総合収益率 年初来	総合収益率 過去12ヶ月	設定来 総合収益率	年率複利 収益率
13,053円	16,127,770,000	-2.3%	-4.5%	-2.3%	-19.1%	+30.5%	+4.3%

AHL ダイバーシファイド・プログラム セクター別配分

株式	債券	短期金利	通貨	エネルギー	金属	農産物	クレジット
17.8%	19.7%	8.3%	21.2%	17.4%	8.6%	5.3%	1.7%

出所: マン・データベース。過去の実績は将来の投資収益を示唆するものではありません。

AHL ダイバーシファイド・プログラムセクター別配分: 2010年1月末現在。セクター別配分とは、リスク・エクスポージャーのセクター別配分を示し、ポートフォリオにおける各セクター間に対する、長期的に想定されるリスク配分を反映させたものです。数値につきましては、現在のポートフォリオにおける各セクターのリスクの試算値に基づいて算出しております。ポートフォリオの構成は、インベストメント・マネジメント・チームによって定期的に見直されるため、リスク・エクスポージャーのセクター別配分は変更されることがあります。投資をご検討の方は、オルタナティブ投資には、相応のリスクがあり、投資金額は上昇、下落いずれの可能性もあることにご留意下さい。本資料は情報提供を目的として、マン・インベストメンツからの情報を元に、シティバンク銀行株式会社が作成した参考資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は、信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。

投資信託は銀行預金ではなく、預金保険の対象ではありません。また、投資者保護基金の支払いの対象ではありません。投資信託は、シティバンク銀行株式会社またはシティグループおよびその子会社・関連会社の債務ではなく、それらによる保証もありません。また、投資リスクがあり、投資した元本が損失を被る可能性があります。当ファンドは居住・非居住に関わらずアメリカ国籍の方、または同国居住の方にはご投資いただけません。本レポートは投資勧誘を目的としたものではありません。投資判断にあたりましては、リスク、手数料、またそれに関わる費用等について重要な開示情報が記載された目論見書をご参照下さい。ご解約に際して、購入から当初3年間は条件付後払申込手数料3%がかかります。詳しくは目論見書をご覧ください。

*1 昨今の市場環境を受け、AHL先物運用プログラムは、2008年11月よりボラティリティ取引の配分を縮小しました。なお、ボラティリティ取引は通貨及び金属市場において行っているため、2008年11月号からはボラティリティ取引の損益を単独で分離せず、通貨及び金属セクターに加えて表示しております。

月次運用報告書

2010年1月

運用結果概況

投資家のリスク回避姿勢が強まる中、好調だった年初の勢いが失われ、当月の株式市場は世界的に下落しました。特にアジアの株式市場が大幅下落し、中国の CSI 300 指数(上海、深セン両証券取引所の A 株に連動)は、当月 10%以上下落しました。投資家心理の悪化を背景に米ドル高が進行し、また、VIX 指数は 19 か月来の低水準となる 17.6 から、24.6 まで急上昇して当月を終えました。

株式/債券

株式セクターは、当月最もパフォーマンスにマイナスに影響しました。多くの取引において買建を維持しており、当月半ばにかけて株式市場が堅調に推移したことからリターンを獲得しました。しかしながら、最終週にかけて投資家心理が急速に悪化し、株式市場が世界的に下落したことから、上記リターンは相殺される展開となりました。中国の 2009 年 10-12 月期 GDP は予想を上回ったものの、金融引き締め政策やインフレ率の上昇を示唆する経済指標の発表が続いたことで、中国の需要が減少し、世界的にも需要が低下するとの観測が強まりました。また、オバマ大統領が米金融機関の投資行動を制限する新規規制案を発表したことを受けて、米国の銀行株を中心に下落圧力が強まり、投資家心理は更に悪化しました。

債券セクターは、プラスの結果となりました。当月、中国および米国における政策転換の動きを受けて投資家のリスク回避姿勢が急速に強まり、市場心理が悪化したことから、債券市場は世界的に上昇しました。また、ギリシャの信用不安が当月も続いたことで、ユーロ圏全体で慎重姿勢が広がり、欧州の国債市場は上昇しました。その結果、特にユーロ建独中期国債や同短期国債の買建を中心にリターンを確保しました。しかしながら、米国債の売建や豪国債および英国債の取引から損失を被り、前述のリターンは相殺されました。

商品先物

金属セクターは、月末にかけてリスク回避姿勢が強まったことを受けて、金と銅の買建から損失を被りマイナスの結果となりました。当月米ドル高が進行したことで米ドル安に対するヘッジとしての金の魅力が後退し、金価格は月末にかけて急落しました。また、中国における金融引き締め政策の影響で銅の需要が落ち込むとの懸念を背景に、銅価格も下落しました。

農産物セクターは、横ばいの結果となりました。主なリターンは小麦の売建によるもので、これまでの悪天候にもかかわらず、米農務省が小麦の収穫高が記録的水準に達すると発表したことを受けて、小麦価格は下落しました。一方マイナス面では、中国からの需要不振や国際綿花諮問委員会(ICAC)が 2010/11 年度の綿供給増加予想を発表したことを受けて綿価格が下落し、同買建から損失を被りました。

エネルギーセクターは、マイナスの結果となりました。天然ガスの取引から被った損失が特にパフォーマンスの足かせとなりました。天然ガスについては、在庫水準の低下が市場予想に反して小幅に留まった一方、米国で再び大寒波が予報されるなど、価格の上昇・下落要因が混在したことから、市場は方向感の定まらない展開となりました。更に、中国の金融引き締め政策による天然資源需要への影響を見極めようとする動きを受けて、暖房油などの石油関連製品の価格が下落したことで、これらの買建からも苦戦を強いられました。

通貨/短期金利先物

通貨セクターは、複数の通貨に対する米ドルの売建より損失を被り、若干マイナスの結果となりました。中国の金融引き締め政策に関する一連の報道を受けて世界経済の失速懸念が高まり、投資家は資金を安全資産へ移しました。高リスクのキャリートレードは巻き戻され、中国経済の成長に依存する国々の通貨を中心に下落する展開となったことから、ブラジルレアルおよび豪ドルに対する米ドルの売建は特に苦戦を強いられました。一方プラス面では、ギリシャの信用不安が当月も続いたことでユーロ安が進行し、米ドルおよび円に対するユーロの売建からリターンを獲得しました。

短期金利セクターは大変好調な結果となりました。リスク回避姿勢の強まりを受けて、低金利水準の長期化観測が再び高まり、市場は直近まで観測されていたトレンドに戻りました。ユーロダラーの買建はプラスのリターンへと転じ、更にユーロポアの買建もパフォーマンスにプラスに寄与しました。

クレジット

クレジットセクターは、リスク回避姿勢が強まる中、売建のポジションから損失を被り若干マイナスの結果となりました。ギリシャの財政危機に対する懸念や全般的なリスク警戒感の高まりを背景に信用スプレッドが拡大したことから、iTraxx 欧州指数、iTraxx 欧州クロスオーバー指数および CDX 北米投資適格指数の取引から損失を被りました。

Man AHL YEN TRUST - 円建て公募契約型バミューダ籍外国投資信託

月次運用報告書

2010年1月

2010年1月 セクター別主要銘柄損益

	主要プラス要因	買い/売り	主要マイナス要因	買い/売り	建玉の方向性	11月	12月	1月
株式/債券	ユーロ建独中期国債	買い	日経 225	買い	S&P 500	買い	買い	買い
	ユーロ建独短期国債	買い	ナスダック 100	買い	日経 225	売り	買い	買い
	ユーロ建独長期国債	買い	DAX	買い	Euro STOXX	買い	買い	買い
					米国債	買い	買い	売り
					ユーロ建独長期国債	買い	買い	買い
商品先物	小麦	売り	銅	買い	原油	買い	売り	売り
	電力	買い	金	買い	金	買い	買い	買い
	砂糖	買い	天然ガス	買い	銅	買い	買い	買い
通貨/短期金利	ユーロダラー	買い	豪ドル/米ドル	買い	ユーロ/円	買い	売り	売り
	ユーロ/米ドル	売り	ブラジルレアル/米ドル	買い	円/米ドル	買い	買い	売り
	ユーリボー	買い	南アフリカランド/米ドル	買い	ユーロ/米ドル	売り	売り	売り
					ユーロダラー	買い	買い	買い
					ユーリボー	買い	買い	買い

出所:マン・データベース。過去の実績は将来の投資収益を示唆するものではありません。投資をご検討の方は、オルタナティブ投資には、相応のリスクがあり、投資金額は上昇、下落いずれの可能性もあることにご留意下さい。本資料は情報提供を目的として、マン・インベストメンツからの情報を元に、シティバンク銀行株式会社が作成した参考資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は、信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。

「投資信託は銀行預金ではなく、預金保険の対象ではありません。また、投資者保護基金の支払いの対象ではありません。投資信託は、シティバンク銀行株式会社またはシティグループおよびその子会社・関連会社の債務ではなく、それらによる保証もありません。また、投資リスクがあり、投資した元本が損失を被る可能性があります。当ファンドは居住・非居住に関わらずアメリカ国籍の方、または同国居住の方にはご投資いただけません。本レポートは投資勧誘を目的としたものではありません。投資判断にあたりましては、リスク、手数料、またそれに関わる費用等について重要な開示情報が記載された目論見書をご参照下さい。ご解約に際して、購入から当初3年間は条件付後払申込手数料3%がかかります。詳しくは目論見書をご覧ください。

月次運用報告書

2010年1月

リスクおよびその他の重要事項

<市場リスク>

・当ファンドはリスクを含む投資商品であり、その運用実績は市場環境等により変動します。買戻価格および早期/強制償還価額は購入時の純資産価値を下回る場合があります。

<信用リスク>

・先物、及びデリバティブの契約は通常、当ファンドとブローカーとの間で交わされます。このため、当ファンドはブローカーが支払い不能状況や、同様の状況に陥ることに伴うリスクがあります。これには当ファンドがブローカーに差し入れる証拠金も含まれます。当ファンドはブローカーの債務不履行リスクを負います。

<AHLのリスク>

・当ファンドはレバレッジをかけ、運用に機動力をつけている結果、マーケットが大きく変動した場合、リスクがより大きくなる可能性があります。当ファンドは多くの取引を同時に行うことがあり、結果として取引コストが高くなる場合があります。

・当ファンドの運用手法である MAN-AHL ダイバーシファイド・プログラムはトレンド・フォロー型運用プログラムの為、投資対象となる多くの市場でトレンドが発生していない時期には損失が発生する可能性がトレンドが発生している時期と比べて高くなります。

・当ファンドの運用手法である MAN-AHL ダイバーシファイド・プログラムは収益率のボラティリティー（標準偏差）を高く設定したモデルであり、短期間の投資成果が利益や損失に大きく変動する可能性がより高くなります。

・当ファンドがブローカーに差し入れる証拠金に関連して、その証拠金がその他の取引相手方の顧客の証拠金と混合される場合もあり、仮にブローカーが支払い不能に陥った場合、ネッティングを通しての損失につながる可能性があります。ただしその他の取引相手方に差し入れられる証拠金は総額でマン・エーエイチエル・円トラスの純資産額の30%を超えないものとします。

・当ファンドは、管理会社の分析モデルの信頼性および正確性に依拠した一定の戦略を採用することがあります。モデル（またはその前提）に誤りがあった場合、当ファンドの投資は予想通りの実績を達成し得ない場合があります。

<投資先流動性リスク>

・当ファンドは、変動が激しく、また流動性がなくなることのある市場に投資する場合があるため、市場の動向に対してポジションを清算することが不可能になり、あるいはそのためのコストが発生する場合があります。

・当ファンドは毎営業日買戻ができるファンドではありません。買戻のお申込みは月に一回しかできません。

<償還のリスク>

・当ファンドの純資産総額が10億円を下回った場合、その他目論見書に規定されている事由が発生した場合には、ファンドを早期償還する場合があります。償還時の純資産価額は投資時の価格を下回る場合があります。

<税務・会計リスク>

・当ファンドを購入した当時の税務・会計処理方法に関して、新たな解釈、法令などの改正が行われる可能性があります。

<投資信託への投資に伴う一般的なリスク>

・投資信託はシティバンク銀行やシティグループ等の債務でなく、それらによる保証もありません。

・投資信託は銀行預金ではなく、預金保険や投資者保護基金の支払対象ではありません。

・投資信託は一般的な預貯金と異なり、元本・利息の保証はありません。

上記リスクや留意点は、ファンドに関わるリスク等の全てを網羅するものではありません。詳しくは目論見書をご覧ください、十分にご確認ください。全てのリスクおよび損益はお客様ご自身の負担となります。

本資料は、商品説明用に作成された資料であり、「金融商品取引法」に基づく開示書類ではありません。

ファンドの受益証券の取得のお申込には、あらかじめ、または同時に交付目論見書をお渡し致しますので、必ずお受取の上、内容をご確認の上、ご自身でご判断下さい。

本資料において使用したデータは、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性は保証されるものではなく、また変更される場合があります。日興コーディアル証券株式会社およびシティバンク銀行株式会社はその情報の信頼性を保証するわけではありません。かかるデータの正確性または販売取扱い会社の見解の有効性へ依拠される方は、自己の判断においてそれを行うこととなります。

月次運用報告書

2010年1月

お申込メモ

商品分類	: 公募契約型円建てバミューダ籍外国投資信託
通貨	: 円
募集期間	: 2007年8月24日から
設定日	: 2003年9月30日
決算日	: 毎年9月30日
購入／買戻申込締切日	: 毎月21日（休日の場合は前営業日）
購入／買戻評価日	: 購入／買戻申込締切日の属する月の月末における純資産価額
買戻受渡日	: 原則として、毎月第14営業日
営業日	: ロンドン、ダブリン、バミューダ及び東京における銀行営業日
分配金	: 予定なし
申込単位	: 1,000万円以上1万円単位

■お申込時に直接ご負担いただく費用

申込手数料 : 申込手数料はありません。

■ご換金時に直接ご負担いただく費用

買戻手数料 : 買付後3年以内に買戻される場合、条件付後払申込手数料が課せられます。買付から3年を経過した後における買戻の場合は、条件付後払申込手数料は課せられません。条件付後払申込手数料は、当該買戻に係る基準価額（買戻価格）に対し下記の料率を乗じることにより算定されます。

受益証券買付後経過期間	条件付後払申込手数料
3年未満	3.00%
3年以上	なし

信託財産留保額 : 信託財産留保額はありません。

■保有期間中に間接的にご負担いただく費用の概要

管理報酬等 : * 投資管理報酬【純資産総額の年率3%、毎月の運用収益の20%の成功報酬（ハイウオーター・マーク）】、* 受託会社報酬【純資産総額が5,000万ドル未満の場合、純資産総額の年率0.05%、純資産総額が5,000万ドル以上の場合、純資産総額の0.03%（最低15,000米ドル）】、* 販売会社報酬【純資産総額の年率0.70%】、* 代行協会手数料【純資産総額の年率0.10%】、* 評価報酬【純資産総額の年率0.150%（最低25,000米ドル）】

その他の費用 : 証券取引に伴う全ての費用及びブローカー手数料、法定開示に係る費用等諸費用、保管会社の報酬等をご負担いただきます。

※手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので表示することが出来ません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

管理会社	: マン・ファンド・マネジメント（ガンジー）・リミテッド
受託会社	: HSBC インスティテューショナル・トラスト・サービスズ（バミューダ）リミテッド
日本における販売会社及び代行協会員	: 日興コーディアル証券株式会社（登録番号：関東財務局長（金商）第129号）
販売取扱会社	: シティバンク銀行株式会社
金融商品取引業者等である旨	: シティバンク銀行株式会社は登録金融機関です。（登録番号：関東財務局長（登金）第623号）
加入している金融商品取引業協会	: 日本証券業協会（特別会員）、（社）金融先物取引業協会